| 当初予算書 |
| --- |
| 217P |

| 事業名 | 【継続】<br>島原城大手門市補助金 | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 当初予算額 | 財源内訳 | | | | （単位：千円） |
| | 国費 | 県費 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 2,000 | | | | 1,000 | 1,000 |
| 事業期間 | 令和４年度～ | | | 総事業費 | |

## 島原城大手門市

【イベントコンセプト】
中心市街地活性化・島原城築城400年後も続くまつりです。

商店街 ― 大屋根広場 ― 島原駅

大屋根広場を中心として、地域を巻き込んだ物産市を開催

【実施主体】　島原城大手門市実行委員会

島原新聞社・商工会議所青年部・青年会議所・周辺商店街・島原鉄道(株)　等

【開催概要】

物産市

地場産品の農水産物の直売のほか、刃物、植木や屋台など

イベント

大道芸、ミニコンサート、フリーマーケット、ケータリングカーやバザーなど

協力団体

商店街はもとより、農協、漁協や移動商、その他大道芸人などに協力を要請

| 科目 | 7款 | 1項 | 2目 | 目名称 | 商工業振興費 | 商工振興課 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |

| 事業計画 | 前年度まで | 今年度 | 来年度以降 |
| --- | --- | --- | --- |
| | イベントの開催 | イベントの開催 | イベントの開催 |

| 事業名 | 【継続】商店街活性化事業（しまばら出店応援ナビ事業） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 当初予算額 | 財源内訳 | | | | （単位：千円） |
| | 国費 | 県費 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 600 | 200 | | | | 400 |
| 事業期間 | 平成３０年度～ | | | 総事業費 | |

**【現状】 空き店舗の増加**

空き店舗の増加は、商店街内の個店の集積というメリット（魅力）を失い、中心市街地における地域の顔としてのイメージが損なわれ、来街者が商店街に活気がないように感じる要因となっています。

**【課題】 出店希望者と所有者のミスマッチ**

家賃の折り合いがつかない、店舗の老朽化、所有者に貸す意思がない、など出店希望者と所有者のミスマッチが課題となっています。
空き店舗の増加により「商店街としての魅力の低下」が懸念されます。

**【事業の目的】 まちの魅力と地域の価値向上**

中心市街地における商店街の活性化を図ることで、まちの魅力を高め、地域全体の価値の向上を目的に魅力ある個店の立地を推進します。

## １ 空き店舗バンク制度

①空き家バンク制度を参考に**『空き店舗バンク制度』**を実施します。
②市のＨＰ上で所有者と出店希望者をつなぐウェブサイトを開設します。
③所有者は、貸し出す物件を登録します。
（場所、広さ、家賃、希望業種など）
④出店希望者は、希望条件を登録します。
（場所、広さ、家賃、職種など）

## ２ マッチング支援

①希望に合う情報を紹介し、それぞれの条件が合えば、さらに詳しい条件を聞き取り、成約へつなげます。
②所有者が了承した物件については、サイトで公開したり、現地で見学会を行ったりします。
③出店が決まれば、**『しまばら創業サポートセンター』**の専門支援員の指導の元、ビジネスプランを策定します。

## ３ 出店初期費用支援

①策定したビジネスプランを基に、必要な支援を実施します。
（資金調達、各種許認可、補助金申請）
②市の補助金制度として、出店にかかる初期費用について支援を行います。
③改装費補助…改装に要した経費
（補助率1/2以内、上限25万円）
④広告宣伝費補助…チラシ、HPの作成費用
（補助率1/2以内、上限5万円）

| 科目 | 7 款 | 1 項 | 2 目 | 目名称 | 商工業振興費 | 商工振興課 |
|---|---|---|---|---|---|---|

| 事業計画 | 前年度まで | 今年度 | 来年度以降 |
|---|---|---|---|
| | ・空き家情報の収集、提供<br>・出店希望者への支援 | ・空き家情報の収集、提供<br>・出店希望者への支援 | ・空き家情報の収集、提供<br>・出店希望者への支援 |

| 当初予算書 |
| --- |
| 217P |

| 事業名 | 【継続】<br>島原市高校・地域連携イキイキ活性化事業 | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 当初予算額 | 財源内訳 (単位：千円) | | | | |
| | 国費 | 県費 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 3,127 | | | | | 3,127 |
| 事業期間 | 令和６年度～ | | | 総事業費 | |

【事業目的】

島原市内県立５校と地域全体との協働により、高校の魅力化を図るとともに、地域活性化へと繋げることを目的とします。

【事業概要】

① 「地域の子どもを地域で育てる」気運を地域と高校が一体となって醸成し、地元高等学校が担う役割を地域と共有し、社会に開かれた魅力ある地域づくりを目指すとともに、高校を核とした地域創成を図ります。

② 島原市と産業、学校の関係性を向上させるとともに地域の大人と高校生の接点を多く生み出し、小規模校ならではの地域をフィールドとした教育環境での実践的な教育活動を通し、生徒が地域における自己の可能性や有効性を発見することができるようにします。

③ ①②を通し、地域への深い関わりを生み、生徒の郷土に対する愛着や誇りを高め、地域への人材の還流を生み出します。

※ 補助金については、総事業費に対して、長崎県 1/2 、島原市 1/2 の負担。
＜参考：総事業費（県市負担）6,137千円、事務費（市負担）58千円＞

【取組事業例】

各学校の特色を活かした取り組み等

「Mijoかふぇ」等の開催

「島原城大手門市」等の行事参加

| 科目 | 7款 | 1項 | 2目 | 目名称 | 商工業振興費 | 商工振興課 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |

| 事業計画 | 前年度まで | 今年度 | 来年度以降 |
| --- | --- | --- | --- |
| | 各校での取組<br>・市の活性化ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ<br>・市の魅力を再発見ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ<br>・市の課題解決ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ | ・事業継続 | ・事業継続 |

| 当初予算書 |
| --- |
| 217P |

| 事　業　名 | 【継続】<br>企業誘致活動事業 | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 当初予算額 | 財源内訳 | | | | （単位：千円） |
| | 国　費 | 県　費 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 2,214 | | | | 1,974 | 240 |
| 事業期間 | 平成２９年度～ | | | 総事業費 | |

【事業目的】

本市では、若年層の人口流出や少子化などによる人口減少の対策が急務です。そこで、市外から新たな企業を誘致することにより、地元に若者を残すための雇用の創出や税収の増加につなげ、地域経済の活性化を図ることを目的とします。

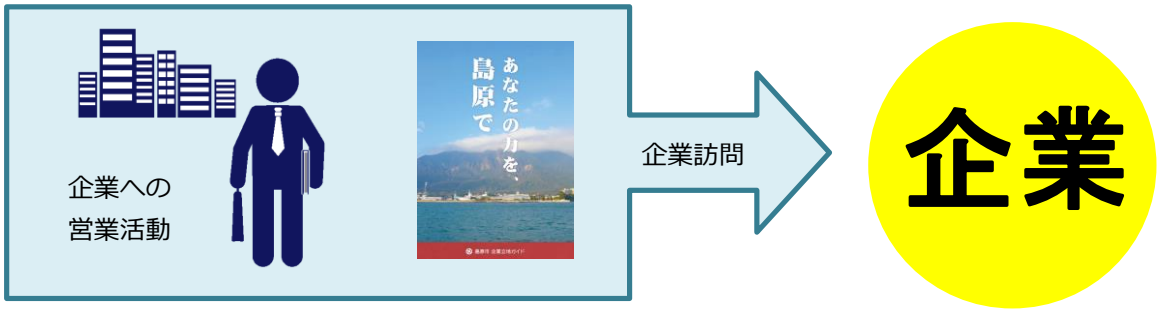
【事業概要】

**1 企業誘致活動**

半導体関連、医療関係、自動車関連や食品加工などの製造業の企業の新規立地及びIT・ベンチャー企業のオフィス系企業の誘致に取り組みます。

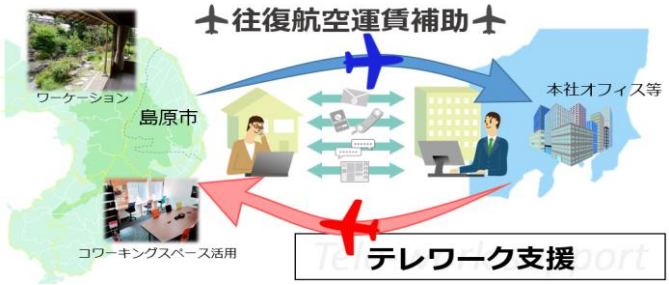
(1)直接訪問等による都市部などの企業への営業活動

(2)企業誘致用パンフレット及び居ぬき物件や未活用の土地など候補物件など、候補物件紹介用資料の作成・配布




**2　島原でしてみんねテレワーク支援事業**

ＵＩターン者増加を目的として、インターネットを介して仕事を受託するテレワークなどの新しい働き方の推進のため、本市に一定期間滞在してワーケーションを行う方や、本市でサテライトオフィスの候補地の一つとして検討している方々への交通費（航空運賃の一部）を補助します。




| 科目 | 7 款 | 1 項 | 2 目 | 目名称 | 商工業振興費 | 商工振興課 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |

| 事業計画 | 前年度まで | 今年度 | 来年度以降 |
| --- | --- | --- | --- |
| | 上記事業概要と同じ（企業誘致活動、島原でしてみんねテレワーク支援事業） | 上記事業概要と同じ（企業誘致活動、島原でしてみんねテレワーク支援事業） | 引き続き実施予定 |

| 当初予算書 |
| --- |
| 219P |

| 事　業　名 | 【継続】<br>サテライトオフィス等開設支援事業 | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 当初予算額 | 財源内訳 | | | | （単位：千円） |
| | 国　費 | 県　費 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 2,000 | 1,000 | | | | 1,000 |
| 事業期間 | 令和２年度～ | | | 総事業費 | |

【事業目的】

新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけに、多くの企業でリモートワークの導入やBCP（事業継続計画）の観点からサテライトオフィスを活用するなど、働く場所の多様化が進むなか、アフターコロナの新しい働き方を実現するため、地方にサテライトオフィスを開設しようとする企業に対し、本市への積極的な誘致を行うため、サテライトオフィスの開設に係る諸経費や人件費の補助を行います。

【事業概要】

１.補助対象者

［開設補助金］

・他の企業がサテライトオフィス等として利用できる貸事務所を開設する者
・サテライトオフィス等の開設後、当該サテライトオフィス等における運営業務を５年以上継続することが見込まれる者

［進出支援金］

・開設補助金を利用して開設されたサテライトオフィス等に県外から進出後、当該サテライトオフィス等における業務を５年以上継続することが見込まれる者
・操業開始した日から２年以内に本市内に住民票のある新規地元正規雇用者を１人以上雇用する者

２.支援内容

［新規分］

■開設補助金（開設経費のみ）・・・・・・・・・・・・・・1社分：1,000千円　※単年度のみ
■進出支援金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1社分：1,000千円　※単年度のみ

| 科目 | 7 款 | 1 項 | 2 目 | 目名称 | 商工振興費 | 商工振興課 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |

| 事業計画 | 前年度まで | 今年度 | 来年度以降 |
| --- | --- | --- | --- |
| | ・事業の周知・広報<br>・指定にかかる審査・決定<br>・各奨励金の支給 | ・事業の周知・広報<br>・指定にかかる審査・決定<br>・各奨励金の支給 | ・事業の周知・広報<br>・指定にかかる審査・決定<br>・各奨励金の支給 |

| 事業名 | 【継続】企業立地促進・雇用創出事業 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 当初予算額 | 財源内訳 | | | | （単位：千円） |
| | 国費 | 県費 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 3,162 | | | | | 3,162 |
| 事業期間 | 平成２４年度～ | | | 総事業費 | |

【事業目的】

本市における新規企業の立地及び地場企業の拡大を促進するため必要な支援措置を講じ、産業の振興と雇用の創出を図ることを目的とします。

【事業概要】

【支援対象業種】
①製造業
②自然科学研究所
③機械修理業
④情報サービス業
⑤宿泊業
⑥技術サービス業
⑦物流関連業

両方の要件を満たすこと

事業の指定

事業が指定されると、支援メニューに沿った奨励金を支給

【支援対象要件】
島原市に新設・増設・移設・改修を行う事業者が以下の要件を満たす場合に支援を行う。

【新設の場合】
投下固定資産額：2,500万円以上

【増設・移設の場合】
投下固定資産額：1,000万円以上
新規雇用者の増加：1人以上

【改修の場合】
改修に要した額：2,500万円以上
新規雇用者の増加：5人以上

【支援メニュー】

**①立地奨励金**
◆投下した固定資産額にかかる固定資産税相当額を３年間補助

**②施設整備奨励金**
◆投下した固定資産額（土地代を除く）の取得額又は改修に要した経費に新規雇用者の数に応じて一定の率を乗じた額を補助

**③土地家屋賃借奨励金**
◆土地・家屋賃借料の25%を3年間補助（限度額1年間で1,000万円）

**④雇用奨励金**
◆新規雇用した人数に対する補助
正規雇用者…50万円／人
短時間雇用者…25万円／人

| 科目 | 7款 | 1項 | 2目 | 目名称 | 商工振興費 | 商工振興課 |
|---|---|---|---|---|---|---|

| 事業計画 | 前年度まで | 今年度 | 来年度以降 |
|---|---|---|---|
| | ・事業の周知・広報<br>・指定にかかる審査・決定<br>・各奨励金の支給 | ・事業の周知・広報<br>・指定にかかる審査・決定<br>・各奨励金の支給 | ・事業の周知・広報<br>・指定にかかる審査・決定<br>・各奨励金の支給 |

| 当初予算書 |
| --- |
| 219P |

| 事　業　名 | 【継続・人口減少対策】<br>雇用拡大支援事業 | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 当初予算額 | 財源内訳 | | | | （単位：千円） |
| | 国　費 | 県　費 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 1,800 | | | | 1,800 | |
| 事業期間 | 平成２７年度～ | | | 総事業費 | |

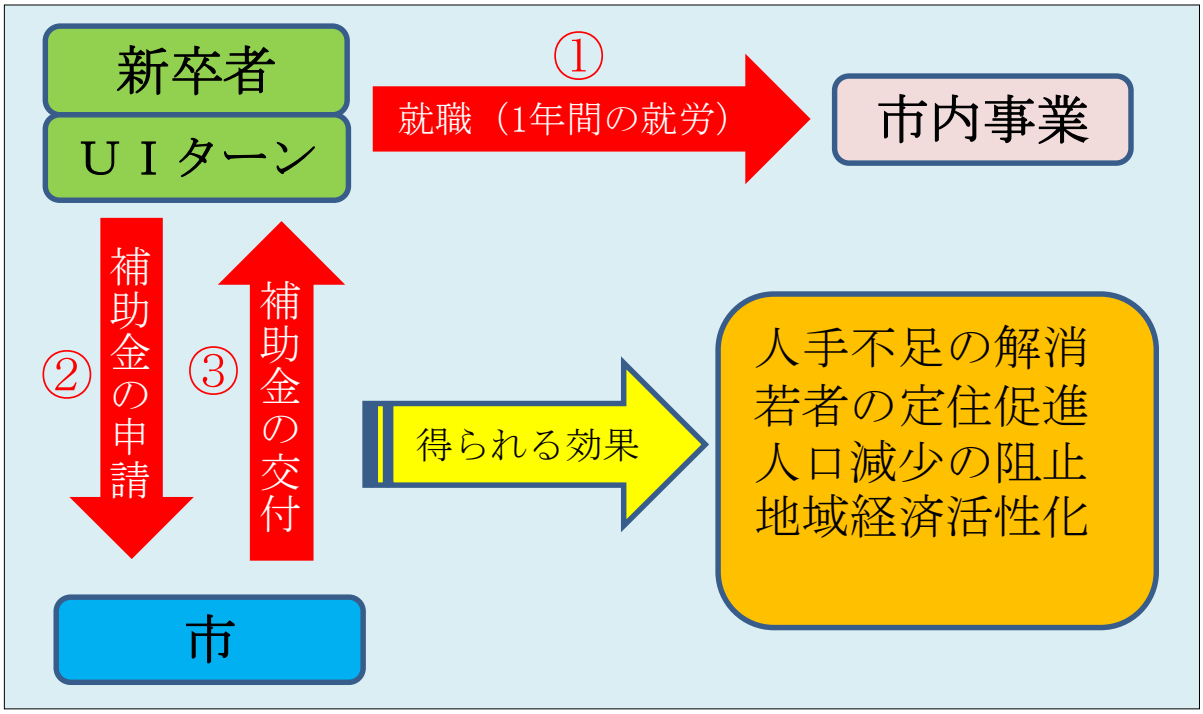
【事業目的】
　市内の事業所に就職した新規学卒者やＵＩターン者（若者）に対する支援を行うことで若者の定住を促進し、地元企業の人手不足の解消を図ります。

【事業概要】
　市内事業所において新規学卒者やＵＩターン者が1年間正規雇用として就労した場合に補助金を交付します。

【対象者】
　①新規学卒者
　②ＵＩターン者（４５歳未満）
　※対象年齢を拡充（４０歳未満から５歳引上げ４５歳未満）

【補助率・積算根拠】
　新規学卒者　　５万円　×　２０人　＝　１００万円
　ＵＩターン者　　10万円　×　　８人　＝　　８０万円

【フロー図】




| 科目 | 7 款 | 1 項 | 2 目 | 目名称 | 商工業振興費 | 商工振興課 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |

| 事業計画 | 前年度まで | 今年度 | 来年度以降 |
| --- | --- | --- | --- |
| | ・市内事業所への周知・広報<br>・補助金の審査・支給 | ・市内事業所への周知・広報<br>・補助金の審査・支給 | ・市内事業所への周知・広報<br>・補助金の審査・支給 |

| 当初予算書 |
| --- |
| 219P |

| 事業名 | 【継続】<br>創業支援等利子補給事業 | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 当初予算額 | 財源内訳 | | | | （単位：千円） |
| | 国費 | 県費 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 459 | | | | | 459 |
| 事業期間 | 平成２７年度～ | | | 総事業費 | |

【事業目的】
　創業時の資金繰りを利子補給で支援し、融資借受人の負担を軽減することで市内中小企業者の経営の安定を図ります。

【事業概要】
○対象者
（１）市内に住所を有する個人又は市内に本店を有する法人
（２）市税等を完納している者
（３）対象融資を受けた者で、約定どおりに返済し、かつ、利子(延滞利子を除く。）を支払っている者

○対象融資
・県の中小企業者向け融資制度
①創業バックアップ資金
②地域産業支援資金
③地方創生推進資金

・日本政策金融公庫国民生活事業の創業関係融資

○補助の方法
・上記融資に対する１２ヶ月分（１／１～１２／３１）の支払利子を対象とし、補給については、交付決定後に申請者からの請求を受けて支給します。

○補給率
・支払った利子額の１／２
※融資を受けた日から３年間分の利子が対象

| 科目 | 7款 | 1項 | 2目 | 目名称 | 商工業振興費 | 商工振興課 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |

| 事業計画 | 前年度まで | 今年度 | 来年度以降 |
| --- | --- | --- | --- |
| | ・事業の周知・広報<br>・補助金の審査・支給 | ・事業の周知・広報<br>・補助金の審査・支給 | ・事業の周知・広報<br>・補助金の審査・支給 |

| 当初予算書 |
| --- |
| 219P |

| 事　業　名 | 【継続】<br>ワーケーション活用事業 | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 当初予算額 | 財源内訳 | | | | （単位：千円） |
| | 国費 | 県費 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 988 | | | | 988 | |
| 事業期間 | 令和４年度～ | | | 総事業費 | |

【事業目的】
　水の都島原の湧水と共にある暮らしを体験できるワーケーション施設「水脈（みお）」を核として、リモートワークを主とする市外の企業や個人のワーケーションを誘致し、企業誘致や市内事業所の発展に繋げます。

【事業概要】
　日本ワーケーション協会などと連携のもと、市外企業等に島原を注目してもらい、ヨソモノ視点を取り入れることで、地域経済の活性化及び関係人口の増加を目指します。

【予算概要】
事業費総額：988千円
（内訳）
イベント、セミナー等に係る経費（旅費、広告料等）：635千円
旧堀部邸の管理経費（修繕料等）：353千円

■水脈（みお）：１階「カフェ」

■水脈（みお）：２階 「コワーキングスペース」

| 科目 | 7 款 | 1 項 | 2 目 | 目名称 | 商工業振興費 | 商工振興課 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |

| 事業計画 | 前年度まで | 今年度 | 来年度以降 |
| --- | --- | --- | --- |
| | ワーケーションを通じて交流人口の増加を図り企業誘致や市内企業の事業所の発展につなげるためのイベントの実施 | 引き続き実施予定 | 引き続き実施予定 |

| 当初予算書 |
| --- |
| 219P |

| 事　業　名 | 【物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業】<br>プレミアム付商品券発行事業 | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 当初予算額 | 財源内訳　（単位：千円） | | | | |
| | 国　費 | 県　費 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 134,850 | 74,850 | 60,000 | | | |
| 事業期間 | 令和７年度 | | | 総事業費 | |

【事業目的】

円安と原油高等における様々な影響から物価高騰となっています。特に食料品、ガソリンや灯油が価格高騰している状況であることから、プレミアム付商品券を発行し、消費支援及び消費喚起を行うことで市内経済の活性化を図ります。

【事業概要】

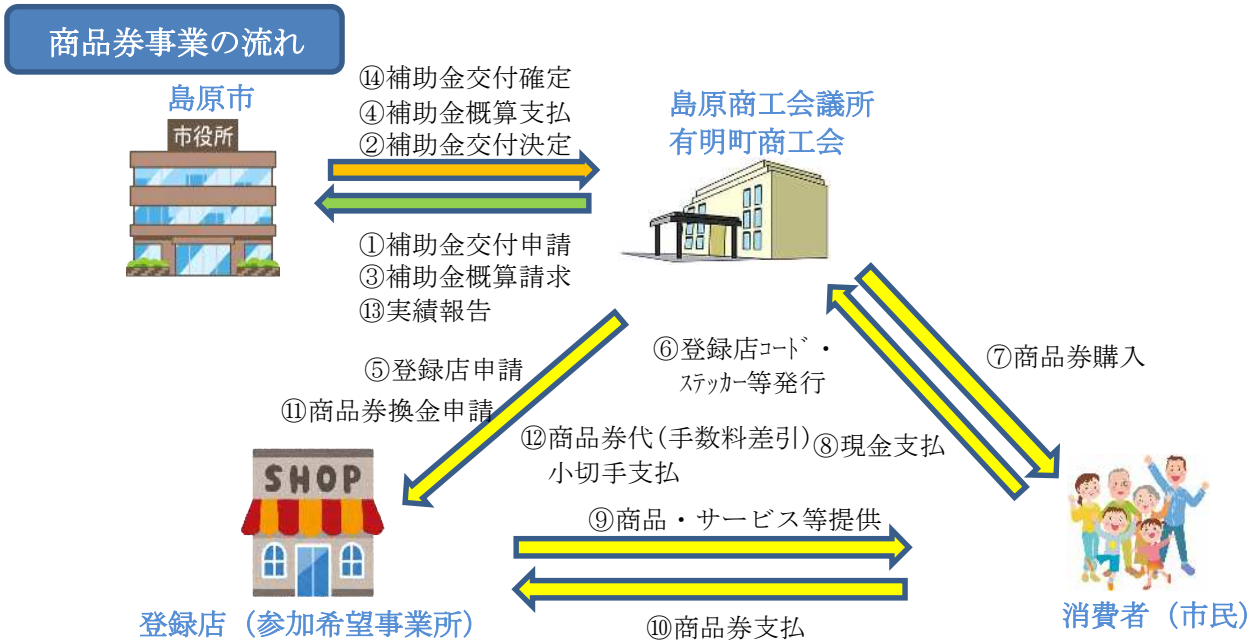
事業主体：島原商工会議所、有明町商工会
商　品　券：１セット　３千円で５千円分（1,000円券×５枚）の商品券を販売
（プレミア率67%）
※５千円×６万セット＝３億円分の消費支援・消費喚起
使用業種：スーパー、商店、飲食店、ガソリンスタンド等

【事業期間】

利用期間：７月下旬～１０月末（予定）

【積算根拠】

プレミア経費：１２０，０００千円（２千円×６万セット）
事務経費　　：　１４，８５０千円
（商品券印刷費、広告宣伝費、人件費、消耗品等）




| 科目 | 7 款 | 1 項 | 2 目 | 目名称 | 商工業振興費 | 商工振興課 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |

| 事業計画 | 前年度まで | 今年度 | 来年度以降 |
| --- | --- | --- | --- |
| | 商品券発行セット数<br>４０，０００セット<br>※１セット：1,000円券×5枚 | 商品券発行セット数<br>６０，０００セット<br>※１セット：1,000円券×5枚 | ― |

| 事業名 | 【継続】島原城築城400年武将隊ＰＲ事業 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 当初予算額 | 財源内訳 | | | | （単位：千円） |
| | 国費 | 県費 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 16,000 | 8,000 | | | | 8,000 |
| 事業期間 | 令和３年度～ | | | 総事業費 | |

【事業目的】

島原城七万石武将隊によるおもてなしや往時を彷彿とさせる歴史演出による非日常感を通じて、観光客の満足感・充実感を高め、観光の活性化と誘客を図ります。

【事業概要】

・島原城を中心とした観光施設等での演舞披露
・観光客へのおもてなしサービスをはじめ、幅広く市民にも愛着を持ってもらうための市内各団体との交流や、市内のイベント等におけるＰＲ活動
・島原城内外での案内の実施、観光情報の提供などによる島原の魅力を発信
・市内外を問わずお祭りやイベント等へ島原城七万石武将隊として積極的に参加し、演舞披露などを通じて島原城をＰＲ
・ＳＮＳを活用した、全国各地で結成されている武将隊との情報交換や戦国マニアなどへの情報発信
・武将隊によるガイド等のオリジナル企画の実施や、武将隊オリジナルグッズの開発
・市内事業者とのコラボ商品の開発

【年別島原城　登閣者・入場者数】

| | H30 | R元 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 登閣者 | 118,483 | 132,160 | 69,948 | 64,041 | 75,838 | 112,908 | 133,962 |
| 入場者 | 196,657 | 213,962 | 117,062 | 109,077 | 137,061 | 184,553 | 221,439 |
| 登閣率 | 60.2% | 61.8% | 59.8% | 58.7% | 55.3% | 61.2% | 60.5% |

| 科目 | 7款 | 1項 | 3目 | 目名称 | 観光費 | しまばら観光課 |
|---|---|---|---|---|---|---|

| 事業計画 | 前年度まで | 今年度 | 来年度以降 |
|---|---|---|---|
| | 島原城築城400年をＰＲするため武将隊によるおもてなし活動や県内外での観光ＰＲ実施 | 武将隊によるおもてなし活動や県内外での観光ＰＲ実施 | 武将隊によるおもてなし活動や県内外での観光ＰＲ実施 |

| 当初予算書 |
| --- |
| 221P |

| 事業名 | 【継続】<br>鯉の泳ぐまち魅力アップ事業 | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 当初予算額 | 財源内訳 | | | | （単位：千円） |
| | 国費 | 県費 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 4,000 | 2,000 | | | | 2,000 |
| 事業期間 | 令和３年度～ | | | 総事業費 | |

【事業目的】

しまばら湧水館（国登録有形文化財「旧三村邸」）を活用し、古民家カフェ事業を行うことで、館内でゆっくりとした時間を過ごしてもらい滞在時間の延長と消費額拡大を図るとともに、そこでしかできない地域特産品の手作り体験により付加価値を高めます。
また、市民と観光客が交流し、憩える場として多くの機会を創出し、交流人口の増加を図ります。

【事業概要】

○古民家カフェの運営
市民と観光客が交流し、憩える場としてより多くの機会を創出するため、しまばら湧水館の魅力を活用したカフェ事業を実施することで、鯉の泳ぐまちの魅力を発信します。
○郷土料理「かんざらし」の手作り体験
湧水との関りが深く、島原の郷土料理でもある「かんざらし」の手作り体験を行い、郷土料理や島原の湧水のPRを図ります。
○観光案内業務
湧水を活用した施設で案内することで、鯉の泳ぐまちの魅力を伝え、交流人口の増加等を図ります。
○地場産品等の紹介や販売
島原湧水に関連した地域限定の商品等の紹介と販売を行い、ＰＲを行います。

【年別　湧水館利用者数】

| | H30 | R元 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 利用者数 | 17,516 | 15,411 | 8,012 | 6,202 | 11,872 | 17,985 | 20,679 |
| うち体験 | 3,277 | 3,075 | 956 | 162 | 99 | 227 | 189 |

※カフェとしての利用はR3.7から

| 科目 | 7 款 | 1 項 | 3 目 | 目名称 | 観光費 | しまばら観光課 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |

| 事業計画 | 前年度まで | 今年度 | 来年度以降 |
| --- | --- | --- | --- |
| | 古民家カフェの運営、観光案内 | 古民家カフェの運営、観光案内 | 自走できるカフェの運営<br>観光案内 |

| 事　業　名 | 【継続】<br>オルレ推進事業 | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 当初予算額 | 財源内訳 | | | | （単位：千円） |
| | 国　費 | 県　費 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 3,957 | 1,700 | | | | 2,257 |
| 事業期間 | 令和元年度～ | | | 総事業費 | |

【事業目的】

温泉や歴史、火山、食などの豊富なジオパークの恵みや自然を活用したオルレコースの認定に伴い、温泉やグルメ、観光地等の情報発信を行うことで、アウトドアブーム・健康ブームといった目的型旅行者の誘客や周遊型観光の推進を図り、交流人口の増加を図ります。

【事業概要】

九州オルレは、地図を片手にリボンや標識を辿って歩く旅。海岸や山などを五感で感じ、自分なりにゆっくり歩く、いわば大人のオリエンテーリングであり、九州各県に全18コースが認定されています。
（県内:南島原コース、島原コース、松浦・福島コース）
また、コースの維持管理やイベントを開催し、交流人口の増加を図ります。

【主な事業】

・仁田方面階段修繕（55段改修：木造⇒擬木）　1,500千円
・台湾友好オルレ締結調印式出席　300千円
・済州島オルレウォーキングフェスティバル参加　150千円
・九州オルレ「島原コース」イベント開催　400千円
・コース維持管理費（除草等）　600千円

| 科目 | 7款 | 1項 | 3目 | 目名称 | 観光費 | しまばら観光課 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |

| 事業計画 | 前年度まで | 今年度 | 来年度以降 |
| --- | --- | --- | --- |
| | コース維持管理・<br>イベント開催 | コース維持管理・<br>イベント開催 | コース維持管理・<br>イベント開催 |

| 当初予算書 |
| --- |
| 223P |

| 事業名 | 【新規】<br>しまばら美食きっぷＰＲ事業 | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 当初予算額 | 財源内訳 | | | | （単位：千円） |
| | 国費 | 県費 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 4,300 | | 2,150 | | | 2,150 |
| 事業期間 | 令和７年度～令和９年度　（複数年度事業） | | | 総事業費 | 11,750 |

【事業目的】

観光消費のカギをにぎる「**飲食消費額**」と「**体験消費額**」の向上を目指し、各交通事業者とコラボした企画きっぷを造成・PRすることにより、飲食・交通を軸に観光消費額と観光入込客数向上を目指します。

お得感を与える値引き分を補助金で行うのではなく、料理の質の向上とPRにより、事業が終了した後も持続可能な企画きっぷ「しまばら美食きっぷ」となるような事業展開をするための市場調査・販売基盤づくり等を行います。

【事業概要】

本企画は**交通券・飲食券・体験券**をセット販売する企画きっぷです。

①交通券
・フェリー往復券　※九商フェリー・熊本フェリー・やまさ海運
・電車往復券（福岡版のみ）　※西鉄・またはJR
②提携飲食店利用券　※利用者が1店舗を選定
③体験券（喫茶カフェも含む）　※利用者が1店舗を選定

島原の強みである「食」をコンセプトとし、熊本・福岡方面からの
**観光入込客・リピーター向上**およびその先にある**観光消費額向上**
を目指します。

○実施委託先：島原観光ビューロー
（連携事業者との合意形成、価格調整、販促施策の実行）
○きっぷ販売元：九商フェリー、熊本フェリー、やまさ海運、西日本鉄道、JR九州
○市内飲食提供事業者：地産食材を使用したメニュー開発　（海鮮料理・ブランド肉料理等）
○市内体験コンテンツ提供事業者：観光農園、茶道体験、苔テラリウム体験

| 【１年目】 | 【２年目】 | 【３年目】 |
| --- | --- | --- |
| ［熊本⇒島原］販売基盤づくり | 本格販売スタート・プロモーション | ［福岡⇒島原］販売基盤づくり・プロモーション |
| ・提携飲食店総数（目標10） | ・提携飲食店総数（目標20） | ・価格調整 |
| ・価格調整 | ・体験コンテンツ提供事業者：合意形成 | ・各交通事業者：合意形成 |
| ・食体験の磨き上げ | ・利用者アンケートの実施 | ・販売体制構築 |
| ・インスタグラマーによる情報発信 | ・広告宣伝 | ・パンフレット・ポスター制作 |

| 科目 | 7款 | 1項 | 3目 | 目名称 | 観光費 | しまばら観光課 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業計画 | 前年度まで | | | 今年度 | | 来年度以降 |
| | ― | | | しまばら美食きっぷの<br>販売基盤づくり | | しまばら美食きっぷの<br>本格販売スタート<br>プロモーション |

| 当初予算書 |
| --- |
| 223P |

| 事業名 | 【新規】<br>インバウンド誘客事業 | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 当初予算額 | 財源内訳 | | | | （単位：千円） |
| | 国費 | 県費 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 1,500 | 750 | | | | 750 |
| 事業期間 | 令和７年度～令和９年度　（複数年度事業） | | | 総事業費 | 4,500 |

【事業目的】

九州の国際空港に直行便のあるアジア各国（中国・台湾・韓国・香港・タイ）市場の中でも特に台湾をターゲットとして様々なプロモーションを展開することで、福岡・熊本方面からの誘客を行い、広域観光周遊ルートを設定することで交流人口の拡大を図ります。

また、長期滞在や観光消費額の高い欧米豪からの観光客の入国は東京・大阪が中心となっており、広域的な連携により認知を獲得し、誘客を促進します。

【事業概要】

●福岡市や熊本市と一体となったプロモーションの実施
５都市連携（福岡市、宗像市、熊本市、日田市、島原市）
○事業費：7,500千円（1,500千円×５市）

（１）ＢｔｏＣ（旅行者向け）プロモーション
台湾における連携都市の認知度向上及び誘客促進を目的として、インフルエンサーやＷＥＢメディア等を活用し、旅行者向けプロモーションを実施します。
①インフルエンサー招請による情報発信
②ＯＴＡ（インターネット上だけで取引を行う旅行代理店）を活用した情報発信
③情報拡散のための施策

（２）ＢｔｏＢ（旅行会社向け）プロモーション
台湾市場における旅行客の誘致を目的として、現地旅行会社及び国内ランドオペレーターに対するプロモーションを実施します。
①ＢｔｏＢセミナー及び商談会
②旅行業界向け情報発信
③国内ランド社向け情報発信

| 科目 | 7款 | 1項 | 3目 | 目名称 | 観光費 | しまばら観光課 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業計画 | 前年度まで | | | 今年度 | | 来年度以降 |
| | ― | | | ・インフルエンサーによるモニターツアー<br>・台湾市場への誘客プロモーションの実施 | | ・インフルエンサーによるモニターツアー<br>・台湾市場への誘客プロモーションの実施 |

| 当初予算書 |
| --- |
| 227P |

| 事業名 | 【継続】<br>浜の川湧水公衆便所新設工事 |
| --- | --- |

| 当初予算額 | 財源内訳 | | | | （単位：千円） |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| | 国費 | 県費 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 30,000 | 12,000 | | 17,100 | | 900 |

| 事業期間 | 令和６年度～令和７年度　（複数年度事業） | 総事業費 | 32,927 |
| --- | --- | --- | --- |

【事業目的】

浜の川湧水周辺には多くの観光客等が訪れているが公衆便所がないため、
新設することでサービス向上を図ります。

【事業概要】

○浜の川湧水公衆便所新築工事　　30,000千円

浜の川湧水観光交流施設「銀水」の隣地に公衆便所を新設
・男子トイレ…大便器×1　手洗い×1
・女子トイレ…大便器×1　手洗い×1
・多目的トイレ…大便器×1　オストメイト×1　ベビーベッド×1　手洗い×1

【参考】
○浜の川湧水観光交流施設「銀水」の来場数（年別）

| | H30 | R元 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 市内 | 2,563 | 2,846 | 1,660 | 1,691 | 1,309 | 1,203 | 1,244 |
| 県内 | 6,766 | 10,517 | 10,430 | 11,057 | 7,390 | 8,841 | 8,264 |
| 県外 | 10,507 | 15,706 | 9,186 | 7,344 | 12,699 | 17,477 | 17,866 |
| 海外 | 222 | 511 | 55 | 5 | 50 | 299 | 311 |
| 合計 | 20,058 | 29,580 | 21,331 | 20,097 | 21,448 | 27,820 | 27,685 |

| 科目 | 7款 | 1項 | 3目 | 目名称 | 観光費 | しまばら観光課 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |

| 事業計画 | 前年度まで | 今年度 | 来年度以降 |
| --- | --- | --- | --- |
| | 浜の川湧水公衆便所<br>新設工事設計業務委託 | 浜の川湧水公衆便所<br>新設工事 | － |

| 当初予算書 |
| --- |
| 227P |

| 事業名 | 【継続】<br>島原城整備事業 | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 当初予算額 | 財源内訳 | | | | （単位：千円） |
| | 国費 | 県費 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 72,000 | 28,800 | | 43,200 | | |
| 事業期間 | 平成３０年度～ | | | 総事業費 | |

【事業目的】

島原城「西の櫓」の外壁・屋根等の改修工事と島原城「丑寅の櫓」の外壁・屋根等の改修設計業務を行い、老朽化等に対する施設の適切な維持管理及び来場者へのサービス向上を図ります。

【事業概要】

○島原城西の櫓外壁等改修工事　67,000千円

「西の櫓」の概要

●建設（復元）
昭和35年3月31日

●規　模
・高さ：　14m
・延床面積：258.57㎡
1階：　133.05㎡
2階：　81.54㎡
3階：　43.98㎡

○島原城丑寅の櫓外壁等改修工事設計業務委託料　5,000千円

「丑寅の櫓」（民具資料館）の概要

●建設（復元）
昭和55年5月27日

●規　模
・高さ：　14m
・延床面積：326.40㎡
1階：　182.24㎡
2階：　90.19㎡
3階：　53.97㎡

| 科目 | 7款 | 1項 | 3目 | 目名称 | 観光費 | しまばら観光課 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |

| 事業計画 | 前年度まで | 今年度 | 来年度以降 |
| --- | --- | --- | --- |
| | ・島原城西の櫓外壁等改修工事設計業務委託 | ・島原城西の櫓外壁等改修工事<br>・島原城丑寅の櫓（民具資料館）外壁等改修工事設計業務委託 | ・島原城丑寅の櫓（民具資料館）外壁等改修工事<br>・島原城西望記念館外壁等改修工事設計業務委託<br>・島原城西望記念館外壁等改修工事 |

当初予算書
231P

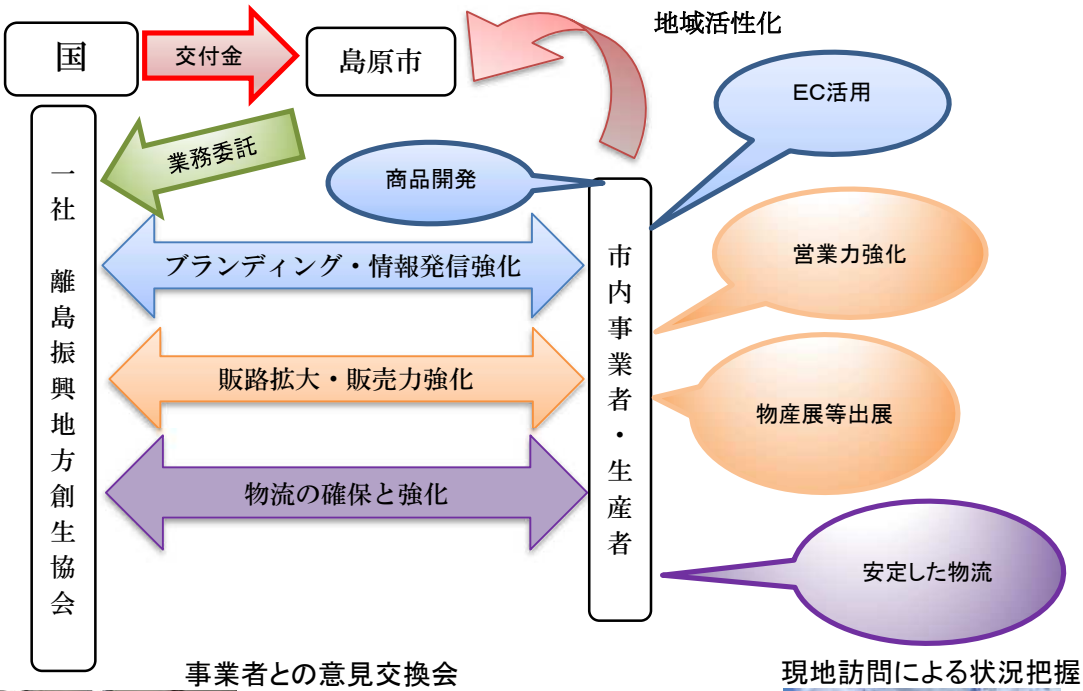
| 事業名 | 【継続】島原市産品振興による地域活性化事業 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 当初予算額 | 財源内訳 | | | | （単位：千円） |
| | 国費 | 県費 | 地方債 | その他 | 一般財源 |
| 16,635 | 8,250 | | | | 8,385 |
| 事業期間 | 令和６年度～ | | | 総事業費 | |

【事業目的】

農水産物やその加工品を含め良質な島原の地場産品・特産品をより多くの地域の方々へ消費してもらえるよう、販路拡大をはじめ、消費者視点を重視した商品開発・改良や生産拡大・販売体制の整備を行い、市内事業者が抱える様々な課題の解決に向けた支援を行うなどの持続可能な本市地場産業の構築を行い、安定した収益性と雇用の促進を促すことで、地域の活性化を図ります。

【事業概要】

本市で水揚げされるシバエビ・昆布・ワカメなどの水産物や本市で生産される生姜・かぼちゃなどの農産物等を使用した良質な島原の地場産品や特産品に、消費者視点を重視した高付加価値を加えるためのブラッシュアップを行い、農水産業の生産者や製造業者といった異業種間の協力体制を整え、併せて出口戦略（売り先）にも取り組み、都市圏への販路拡大を図るため、本プロジェクトに係る業務を「一般社団法人　離島振興地方創生協会」に委託するものです。




事業者との意見交換会

現地訪問による状況把握

| 科目 | 7款 | 1項 | 4目 | 目名称 | ふるさと産業振興費 | 商工振興課 |
|---|---|---|---|---|---|---|

| 事業計画 | 前年度まで | 今年度 | 来年度以降 |
|---|---|---|---|
| | ・島原市産品販路拡大のコンサルティング開始 | ・島原市産品販路拡大<br>・物産展及び見本市等への参加<br>・新商品の開発及び改良 | ・島原市産品販路拡大<br>・物産展及び見本市等への参加<br>・新商品の開発及び改良 |